**日本の教育×テクノロジー事例分類：成功事例と失敗事例**

**成功事例**

**1. GIGAスクール構想の成果**

* **1人1台端末配備完了**により、対面授業とのハイブリッド化が進展.[[1]](#fn1)
* **立教池袋中学校**：SKYMENUの手書き数式入力機能で生徒の主体的学びを促進し、課題解決型のディスカッション時間を拡大.[[2]](#fn2)
* **埼玉県狭山市立水富小学校**：VRを活用した疑似体験型の情報モラル教育を実施し、児童の理解度向上を達成.[[2]](#fn2)

**2. アダプティブラーニング導入企業**

* **三菱UFJ銀行**：AI教材による個別最適学習で新入行員の社内テスト総合得点が前年度比16%上昇.[[3]](#fn3)[[4]](#fn4)
* **JR西日本**：記憶定着型学習エンジン「Cerego」を司令職員研修に導入し、学習効率と職員の意欲が向上.[[4]](#fn4)[[3]](#fn3)

**3. 教育DX先進モデル**

* **郁文館夢学園**：生徒一人ひとりの学習履歴を「生徒カルテ」として可視化し、AIチャットボット補助教員によるパーソナライズ授業を推進.[[5]](#fn5)
* **大阪市**：児童生徒ボードとデータ連携システムで個別指導をデジタル化し、教員負担の軽減と学習効果最適化を実現.[[6]](#fn6)

**4. EdTechスタートアップの資金調達成功**

* **Alumnote**：シリーズAで7.6億円を調達し、大学の資金調達モデル改革を支援.[[7]](#fn7)
* **atama plus**：累積調達額約82億円。AIを活用した適応学習エンジンが大手塾で採用拡大.[[8]](#fn8)
* **ライフイズテック**：累積調達額55億円。プログラミング教育をエンタメ化し中高生人気を獲得.[[8]](#fn8)

**失敗事例**

**1. スタディサプリ塾向けサービス終了**

* **カスタマイズ性不足**：塾独自カリキュラムへの柔軟対応が困難.[[9]](#fn9)
* **利用継続率低迷**：定着率が非常に低く「ごくわずか」の塾しか積極利用せず.[[9]](#fn9)
* **組織体制の乱れ**：中核メンバーの独立が相次ぎ、開発・営業力が低下.[[9]](#fn9)
* **競合出現**：ChatGPTの対話型学習機能登場により差別化困難に.[[10]](#fn10)

**2. BtoC向けeラーニングの二極化**

* **市場縮小**：BtoC市場は前年比3.8%減。個人学習者のモチベーション維持難が一因.[[11]](#fn11)
* **コロナ特需の反動**：需要急増後の反動でオンライン学習全体の成長鈍化.[[11]](#fn11)

**3. 地域間ICT格差による導入失敗例**

* **通信環境不備**：大人数同時利用に耐えうる通信網を整備できない学校が8割.[[12]](#fn12)
* **教員負担過大**：端末管理やトラブル対応に追われ、授業準備時間が圧迫.[[1]](#fn1)
* **自治体予算格差**：財政状況によりICT投資に大きな差が生じ、導入格差が拡大.[[12]](#fn12)

**4. データセキュリティ対応の遅れ**

* **端末データ消去不備**：GIGA端末返却時のデータ消去が徹底されず、文科省調査対象に.[[13]](#fn13)
* **法整備の遅延**：教育データ利活用に特化した法制度が未整備で、プライバシー保護と活用の両立が困難.[[14]](#fn14)[[15]](#fn15)
* **情報漏えい件数増加**：学校現場での情報漏えい事故が多発し、被害の半数が紙媒体起因と判明.[[16]](#fn16)

日本の教育テクノロジーは、市場拡大と革新的成功例が多数見られる一方、事業モデルの不適合や地域格差、セキュリティ対応など多様な失敗要因が存在する。今後は失敗事例の教訓を活かし、カスタマイズ性の強化、データ保護体制の整備、教員研修の充実と予算配分の公平化が不可欠である。

⁂

1. <https://netsupport.widetec.com/column/ict/c3660>

1. <https://www.skymenu.net/media/article/1638/>

1. <https://www.hrpro.co.jp/miraii/post-1748/>

1. <https://schoo.jp/biz/column/1056>

1. <https://rpa-technologies.com/insights/dx_education/>

1. <https://www.persol-bd.co.jp/service/bpo/s-bpo/column/education-dx/>

1. <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000042.000091371.html>

1. <https://www.fastgrow.jp/articles/edtech-2024>

1. <https://www.shijyukukai.jp/2025/09/28730>

1. <https://note.com/shinao39/n/n8ffd122dd61c>

1. <https://note.com/wu_moriyama/n/nf1ce519c9361>

1. <https://www.irisohyama.co.jp/b2b/itrends/articles/5031/>

1. <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000008.000156132.html>

1. <https://note.com/fine_broom950/n/n9fa7d471cca0>

1. <https://edtechzine.jp/article/detail/12342>

1. <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000036.000072662.html>